

# 亀山城下まち歩き案内アプリ

亀山宿は江戸時代、東海道53次の46番目の宿場町で露心庵から京口門まで約2.5kmにおよびました。

16世紀中頃に伊勢亀山城が築かれ、以後関氏の城下として発展しました。

伊勢亀山城は1590年岡本宗憲によって天守を築造するなど修築を行い、本多俊次が1636年から3カ年をかけて大改修によって現在の城地が確定しました。

1873年の廃城令により大部分が取り壊され、現在は多聞櫓、石垣、外堀、二之丸から西出丸北側の土居が残っています。

亀山城下まち歩き案内アプリは、下記のQRコードをダウンロードしてください。

